

第20回東日本運転 交流会開催！

第20回目を数える東日本運転交流会は高崎地本運転協議会が準備地本となり、群馬県榛名湖温泉にて10月30日～31日の日程で開催されました。

今年は、前日29日検修業務の外注化について会社側から提案が出され、その後すぐの開催となり、参加者には今回の提案内容をいち早く知らせることが出来、議論も出来るというタイミングの交流会となりました。総勢60名が参加するもと、後藤東日本運転協事務長の開会挨拶で始まり、高崎運転協・鈴木事務長を座長に選出し、進行されました。

今年は高崎運転協が準備ということで、冒頭高崎地本・横塚委員長が挨拶に来られ1047名不採用問題・JRの安全問題とコンプライアンスについてと組織拡大についてお話をいただきました。

その後、準備地本運転協を代表して清水議長から挨拶を受けました。

東日本運転協議会・木立議長からは、準備してくれた高崎地本の皆さん・参加者・来賓の方々に対して御礼から始まり、今月16日に開催した第21回東日本運転協・定期委員会の内容を掻い摘んでの報告と、今年特に力を入れて取組んでほしい事項として外注化問題と分会の活性化について提起したこと、特に外注化の方は間髪いれずに提案が出され、すぐにでも行動に移すことになったことが強調されました。さらに、「勤務プロジェクト会議」の現状にも触れ、JR西日本・福知山線の脱線事故に見られるよう運転士の過酷な勤務実態が事故を招くことから、労働条件緩和に対する交渉を求めていることも紹介しながら、報告しました。

東日本本部からは、松井書記長・武笠調査部長に参加して頂き、代表して松井書記長より東日本本部としての現状と闘いについて・組織拡大や合理化(検修の外注化)施策について、また今年は制度・政策要求を出す年で、これからの運動や年末手当要求(3.5ヶ月)を提出してきたこと等々お話をいただきました。

その後、運転全国連絡会から岡野事務長が参加され、全国運転交流会についてご尽力いただいた東日本の皆さん方に対しての御礼や今年全国連絡会として取組んだアンケート結果についての説明とこのことが国鉄新聞や国労文化の取材を受けることにつながったことをご報告いただきました。

そして、今年は講師として今年の大会で退任された山根・前エリア執行委員をお招きし、「運転協議会の仲間は大いに期待する」と題して一時間にわたって講演を受けました。執行委員の時は、私たち運転協議会関係の交渉を手がけ、大いに力を奮っていただいたことから講演を依頼し、実現しました。

＊ 講演は、大きく3点にわたって話されました！

1. 世界と日本は、新たな激動の時代を迎えていること。

- ・世界は、米・オバマ大統領のプラハ演説から「核兵器の無い世界へ」と国連安保理決議がなされるなど、新たな第一歩を踏み出した。
- ・日本では、自公政権から民主党を中心とした連立政権へと移った。
- ・国民が抱く「政治を変えてほしい」との一步となった。

2. JRにおける安全問題とコンプライアンスについて

- ・JR西日本では福知山線脱線事故調査委員とJR西会社幹部との情報漏えい問題が明らかとなり、社会問題化している。
 - ・JR東日本では信濃川発電所問題から水利権取り消し処分を受ける。
 - ・いずれも、「安全第一」と言いながら、収益第一の経営方針が招いた政策の結果
 - ・これには、政府の規制緩和施策が深く関わっている。
 - ・省令では、会社が行う施策を追認する形となっている現状
- ## 3. 今こそ、職場での闘いが必要なとき。国労が進めてきた運動に自信と確信を持って
- ・首都圏では、輸送障害の多発。深刻な事態。
 - ・JR発足後、関連労働者を含め322名の死亡者を出している。
 - ・タクシー業界では、規制の緩和から強化へと変わってきた。
 - ・国労が先導した着替え時間の確保の闘い。
- などなど、闘ってこそ切り開いてきた労働条件がいくつもある。

私たちの闘いに展望を持たせ、数多くの経験上からの闘い方の講演でありありがとうございました。講演終了後、すぐ分散会に移りましたが、今年は外注化提案があってすぐの交流会であり、変則的となりましたが、分散会と同時進行で各地方代表者会議を開催しました。

「代表者会議」では、提案を受けたエリア本部・松井書記長に参加いただいて提案内容の詳細を報告していただき、併せて今後のエリア本部として対応の考え方を出示していただきました。

また、5つの分散会の方にはエリア本部・武笠調査部長がそれぞれの分散会に参加し、内容の詳細や質問にも答えていただきました。

東日本本部執行部には大変お世話になりました、この紙面を通じてお礼申し上げます。▼

その後、二次会の夕食・交流会となり、東日本運転協議会として長年役員をし、退任された人の表彰を行いました。今年は新潟の渡辺前議長と高崎の金子前議長にそれぞれ記念品の授与を行いました。長い間ご苦勞様でした、今後とも指導よろしくおねがいいたします。

二日目は、鈴木座長が急用のため退席する中で高崎運転協・清水議長が代務として座長に座り、9時から再開しました。

各地方からの報告と分散会報告を連続して行いました。

各地方からの報告では、運転協として取り組んだ運動で成果も出てきた内容や10月に行われた東日本運転協議会定期委員会の提起を受け、運動に取り組むことを決め合ったこと等、各地方の特状も出され、内容を参加者で確認し合いました。

分散会報告では、やはり検修の外注化問題が大きく占める報告がなされました。

そして、是非外注化反対のアピールを出してほしいとの要望が出されました。

以上の報告を受けて、木立議長からまとめとしての発言を受けました。

① 要望のあったアピールについては交流会ニュース発行時に併せて出していく。

② 今回の外注化提案を受け、早速各地方で学習会・集会等開いてもらって職場末端まで内容をよく理解してもらうことから初めてほしい。

③ 今回の外注化提案はメン近Ⅲ期の時と比較してもかなり速いスピードで動いている。大変ですが、スピード感を持って行動して欲しい。

④ 今後、運転協議会はエリア本部の協力も得て、出来るだけ各地方への会議にも入っていく。

⑤ 今回のことを通じて、分会の活性化に対する取組みも併せて行えるのではないかな。特に死傷事故が多発している中、職場の「安全衛生委員会」の活用も話し合ってもらいたい。

など等とまとめがあり、最後に「団結ガンバロー」を三唱し、散会しました。

高崎地本横塚委員長を始め倉林業務部長、そして清水議長を始めとした高崎運転協議会の皆さん大変お世話になりました、今後も力を合わせて頑張りましょう！

国労東日本運転協議会